

## うるま市次世代育成支援行動計画（前期計画）評価報告書

### 1. 行動計画（プラン）名称

うるま市次世代育成支援行動計画

### 2. 計画期間内における計画（プラン）全体の実施状況

計画に基づき具体的に取り組んだ施策、事業等の内容は、平成19年度に放課後児童クラブを1箇所増。延長保育事業を2箇所増。一時保育事業を13箇所増。特定保育を9箇所増。平成20年度に放課後児童クラブの1箇所増。平成21年度は一時預かり・特定保育が、国の要綱改正に伴い4箇所増の減となった。

### 3. 計画（プラン）全体の達成状況

通常保育事業については、平成17年度の合併以降に創設1、認可化促進事業3の計4施設増としたが、合併に伴う状況変化等により廃止・統合が行われ3箇所の公立保育所が減となり結果として1増にとどまっている。乳幼児健康支援一時預かり事業については、平成17年度に1箇所実施したが、継続できなかった。制度等の改正もあり、今後事業計画の見直しをする必要がある。ファミリーサポートセンターについては、平成18年度に直営事業として開所し目標を達成した。平成19年度からはサービスの更なる充実のためNPO法人への委託としている。地域子育て支援センター事業は、目標達成に向けて実施箇所を増やしてきた。

### 4. 3を受けての計画（プラン）全体の評価

目標数値達成に向けて実施箇所の増となっている事業が多々あるが、法改正等により実施箇所の大幅な減もあり再検討を要する。

### 5. 評価を受けての課題、問題点等

平成16年度に旧4市町で作成された計画を平成17年度の合併時に旧市町の目標数値の合計を基本に新市の目標数値として作成し直されたが、合併に伴う状況変化によりニーズ変化が起きたことが考えられ、目標と実際の需要とのギャップがある。今後は、現実にあった目標数値に見直す必要がある。